



檜山地本通信

第6号 2011年3月1日 発行

発行 自労連北海道檜山地方本部 TEL0139-54-2012 fax0139-54-2010

2011 春闘



2月28日、統一要求書の回答指定日であったことから、当局からの回答を踏まえ、3月1日から10日まで、重点交渉期間となっています。
また、3月8日から11日まで腕章着用、戦術配置を行うとともに、全国統一行動日である11日のヤマ場にむけて、職場集会や教宣紙の発行などの戦術配置を実施し、交渉状況等を組合員へ周知し、組合員一丸となったたたかう取り組みの強化を図るようお願いいたします。

〈春闘スケジュール〉

- 〔2月14日～21日〕
要求書提出
- 〔2月14日～3月末〕
組合旗掲揚、リストバンド着用
- 〔2月28日〕
要求書回答指定日
- 〔3月1日～10日〕
重点交渉期間
- 〔3月8日～11日〕
腕章着用
- 〔3月11日〕
全国統一行動日
(29分時間内くい込み集会、超勤拒否、出張拒否)

179の
「できる!」をつくる。

道南医療 定期大会

2月26日(土)、森町グリーンピア大沼で、午後1時から渡島・檜山地本合同衛生医療評議会幹事会を開きました。また、幹事会に引き続き第17回道南医療定期大会が午後3時から開かれ、総勢39人が参加し、檜山地本からは、幹事会および総会へ西海谷副委員長(衛生医療評議会議長)と佐野書記長の2人が出席しました。
総会では、来賓として福原道議会議員がお越しになり、医療現場で働く組合員へ激励のあいさつをされました。



総会終了後の講演会では、逢坂誠二衆議院議員（総務大臣政務官）により、『民主党がめざす地方自治と社会保障』と題し、講演が行われました。



あいさつする福原道議

第三回全国 町村職 総決起集会

2月25日（金）、午前10時15分から社会文化会館

大ホールで、デモ行進前の総決起集会が開かれました。当日は、檜山地本各単組から6人が参加しました。

総決起集会終了後、東京では「春一番」が吹く、暖かい晴天のもと、国会請願デモ（シュプレヒコール）が行われ、社会文化会館をスタートして日比谷公園で終了しました。その後、九段会館へ会場を移し、総決起集会の総仕上げを行いました。

檜山地方本部 当面のスケジュール

（3月1日現在）

- 3月 2日（水） 今金町職定期大会（今金町）
- 14日（月） 2011春季生活闘争総決起集会（江差町）
- 16日（水） 2011春季生活闘争総決起集会（せたな町）
- 23日（水） 『檜山の未来を創る会』総決起集会（江差町）



シュプレヒコール出発！

編集後記

2月と言えば、関東あたりでは、梅の咲く時期ですが、北海道ではまだまだ寒い日が続いております。

しかし、2月7～8日に限っていえば、この檜山では熱風が駆け抜けたのではないのでしょうか。

知事候補予定者の木村俊昭さんが来檜し、熱い心意気を伝えてくれました。

「できない」を「できる」に！

この合言葉の下、新しい北海道をつかっていくという意気込みを聞きました。

一方、福原道議もこの間、各種集会へ精力的に出席され、多くの場面であいさつしました。

われわれ組合員の声を道政へ届けていくためには、民主党を中心とする地方議会を確立しなければなりません。そのために、自治労に結集するわれわれ組合員が推薦決定した候補予定者をしっかりと支えていく必要があります。

「隼よりはじめよ」という言葉に象徴されるように、環境を変えるには、まず自分が一步を踏み出す必要があります。

（佐野）